

観察した鳥類チェックリスト

★キジ目	★ツル目	★ハヤブサ目	□ ツグミ
・キジ科	□ クイナ	・ハヤブサ科	□ ジョウビタキ
□ キジ	□ ヒクイナ	□ チョウゲンボウ	・スズメ科
★カモ目	□ バン	□ ハヤブサ	□ スズメ
・カモ科	□ オオバン	★スズメ目	・セキレイ科
□ オカヨシガモ	★チドリ目	・モズ科	□ キセキレイ
□ ヨシガモ	・チドリ科	□ モズ	□ ハクセキレイ
□ ヒドリガモ	□ タゲリ	・カラス科	□ セグロセキレイ
□ マガモ	□ ムナグロ	□ カケス	□ タヒバリ
□ カルガモ	□ コチドリ	□ オナガ	・アトリ科
□ ハシビロガモ	・セイタカシギ科	□ ハシボソガラス	□ カワラヒワ
□ オナガガモ	□ セイタカシギ	□ ハシブトガラス	□ アトリ
□ コガモ	・シギ科	・シジュウカラ科	□ ウソ
□ ホシハジロ	□ タシギ	□ ヤマガラ	□ シメ
□ キンクロハジロ	□ イソシギ	□ シジュウカラ	□ コイカル
□ ミコアイサ	・タマシギ科	・ヒバリ科	・ホオジロ科
★カツブリ目	□ タマシギ	□ ヒバリ	□ ホオジロ
・カツブリ科	・カモメ科	ツバメ科	□ カシラダカ
□ カツブリ	□ ユリカモメ	□ ツバメ	□ アオジ
□ カンムリカツブリ	□ セグロカモメ	・ヒヨドリ科	□ オオジュリン
□ ミミカツブリ	□ オオセグロカモメ	□ ヒヨドリ	□
□ ハジロカツブリ	★タカ目	・ウグイス科	□
★ハト目	・ミサゴ科	□ ウグイス	□
・ハト科	□ ミサゴ	・エナガ科	□
□ キジバト	・タカ科	□ エナガ	□
★カツオドリ目	□ トビ	・メジロ科	□
□ カワウ	□ チュウヒ	□ メジロ	(外来種や家禽)
★ペリカン目	□ ツミ	・ヨシキリ科	□ コブハクチョウ
・サギ科	□ ハイタカ	□ オオヨシキリ	□ パリケン
□ ヨシゴイ	□ オオタカ	・セッカ科	□ ガチョウ
□ ゴイサギ	□ ノスリ	□ セッカ	□ アヒル
□ アマサギ	★ブッポウソウ目	・ムクドリ科	□ ドバト
□ アオサギ	・カワセミ科	□ ムクドリ	
□ ダイサギ	□ カワセミ	・ヒタキ科	
□ チュウサギ	★キツツキ目	□ シロハラ	
□ コサギ	・キツツキ科	□ アカハラ	
	□ コゲラ		

このパンフレット持参で
てがたん参加者の方は
当日、博物館入館無料です。

【7月のテーマ】
生きるための毒
案内人：石原直子・小泉伸夫（鳥の博物館 市民スタッフ）

て
が
た
ん



▲ 植物全体に毒をもつキョウチクトウ（夾竹桃）

今月のテーマは生きるための毒です。身近な生き物には毒をもつもの
がたくさんいます。

身を守る、獲物を狩る、生息場所の確保と、目的はそれぞれ違います。
生きるために彼らがどのように毒をもち、使うのか、その魅力を知れば、
必要以上に怖がらずに観察ができます。

（毒のある生き物には触れないよう、注意して観察しましょう）

「生きるためにどのように毒を使う？」

自分の身を守るための毒

植物や昆虫などの生き物の中には、捕食者から身を守るために毒をもつものがいます。



ワルナスピ



セイタカアワダチソウ



ニホンアマガエル

毒を持つ部分・毒の作用は？

ワルナスピの生え方は？

毒を持つ部分・毒の作用は？

セイタカアワダチソウの生え方は？

毒を持つ部分・毒の作用は？

毒をもたないカエルもいる？

獲物を狩るための毒

節足動物や爬虫類の中には、獲物を狩るために毒を使うものがいます。



コマチグモの仲間



オオスズメバチ



ヤマカガシ

毒を持つ部分・毒の作用は？

どこで獲物を狩る？住処はどこ？

毒を持つ部分・毒の作用は？

ミツバチの毒針との違いは？

毒を持つ部分・毒の作用は？

毒をどのように貯える？



ヒロヘリアオイラガ（幼虫）



キマダラカメムシ



ジャコウアゲハ

毒を持つ部分・毒の作用は？

幼虫が食べている植物は？

毒を持つ部分・毒の作用は？

幼虫の姿は？

毒を持つ部分・毒の作用は？

幼虫の姿は？

「有毒生物を真似する生き物」

自身は毒を持たずに、毒をもつ生き物に姿を似せることで、外敵から捕食されるリスクを減らす生き物もいます。



ベニカミキリ



セボシジョウカイボン



カノコガ

真似た有毒生物：

真似た有毒生物：

真似た有毒生物：